

【横配水-No.7】四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

位置図



令和 8 年度

【横配水-No. 7】

四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

特 記 仕 様 書

横手市上下水道部水道課

第1章 総則

1-1 適用範囲

この特記仕様書の適用範囲は「令和8年度【横配水-No.7】四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事」に適用する。

1-2 共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「横手市制定 土木工事共通仕様書」及び「水道工事標準仕様書 2010（日本水道協会）」に基づき実施しなければならない。

1-3 工事規格値

「秋田県土木工事共通仕様書 施工管理基準」及び「横手市水道施設工事規格値」（別紙1）に基づき実施しなければならない。

1-4 週休2日制工事の対象

週休2日制工事の実施については、「横手市週休2日制水道工事実施要綱」及び「横手市週休2日制工事に関する水道工事運用」に基づいて実施するものとする。

1-5 提出様式

横手市トップ＞事業者の方へ＞建設・設備業を営む皆様へ＞公共工事様式集
＞建設工事等に関する提出書類様式集を使用する。

第2章 一般事項

2-1 残土受入地の選定

残土受入地は監督員の指示がない場合は受注後、請負者が自ら選定した上で、監督員と協議するものとする。

2-2 残土処理費用

残土処理費用は、仮置き場までの運搬費用、仮置き場での整地、残土受入地までの運搬費用及び発生土処分費を計上している。

2-3 設計変更

設計変更は、次に掲げる各号に基づき行う。

(1)設計変更に伴う変更契約は、その内容（工事内容・工期・金額）を契約担当者が請負者に提出し、双方協議のうえ、締結する。

(2)設計変更の対象となるものは、図書、仕様書並びに、工事打合簿等の協議書で明記した事項とする。

2-4 施工管理

施工管理は次に掲げる各号に基づいて行うものとする。

(1)請負者は、「横手市制定 共通仕様書（土木工事施工管理基準及び規格値）」及び「水道工事標準仕様書 2010（日本水道協会）」、請負者が作成した施工計画書に基づき施工管理するものとする。なお、施工計画書は監督員の事前審査を受けること。

(2)舗装復旧においては現場代理人及び主任技術者は自ら写真管理、出来形管理を行い、下請業者を指示監督すること。

(3)ダクタイル鋳鉄管及び水道配水用ポリエチレン管については、チェックリストを作成し提出する。

2-5 段階確認

段階確認は、次に掲げる各号に基づいて行うものとする。

(1)請負者は、着手前に段階確認の内容と時期を監督員と協議し、事前に段階確認書により監督員に報告しなければならない。また、段階確認指定工程に通水試験工（水圧試験）を追加し、水道管布設完了時行うものとする。

(2)請負者は、監督員が段階確認を机上で行うとした場合、施工管理記録、写真等の資

料を整備し、提出しなければならない。

2-6 竣工図

竣工図は、次に掲げる各号に基づいて行うものとする。

(1)請負者は、検査前までに管路の布設状況、バルブのオフセット等を明記した図面を提出しなければならない。

(2)当該工事において給水管の切替・新設等があった場合、請負者は監督員の指示に従い給水図面の変更等を提出しなければならない。

第3章 施工

3-1 施工条件

本工事に使用する建設機械は排出ガス対策型とする。また、低騒音型建設機械の使用に努めるものとする。

3-2 工事用電力

本工事に使用する電力設備及び電気料は、請負者の負担とする。

3-3 地下埋設物の立会い

請負者は、地下埋設物の周辺で土木工事を施工する場合、原則として各種埋設物の管理者の立会いのもと行わなければならない。また、事前に地下埋設物確認書を監督員に提出すること。

3-4 埋め戻し材料及び方法

工事着手前に材料承認書を提出し、確認を受けること。

埋め戻し方法は、砂は仕上り厚20cm、上層路盤は仕上り厚15cm、下層路盤は仕上り厚20cm毎に転圧する。

3-5 安全対策

本工事の安全対策は次の各号に基づき行うものとする。

(1)毎日工事開始前に事故防止のためのミーティングを行い末端作業員まで周知し、安全意識の向上を図ること。

(2)保安施設・標識類の設置位置、設置方法を適正に行い監督員の確認を受けること。

(3)工事中看板は、別紙2「水道工事標示板」に基づき設置すること。

(4)土留工は、設計図書に示すものを標準とし、現場状況により監督員と協議し施工する。

3-6 熱中症対策

熱中症対策に資する現場管理費の補正（熱中症補正）の対象とする。

(1)工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。

(2)施工計画書に基づき、計測結果の資料を提出すること。

3-7 施工管理システム

本工事はダクタイル鉄管管路の施工管理システム(以下、「本システム」という。)を使用し、施工管理を行うものとする。本システムにおける「月額使用料(月単位)」は、契約月及び工事完成月を除いた月数以内を基本としているが、**本工事は工事期間が2ヵ月に満たないため、1ヵ月分を技術管理費に計上している。**

3-8 交通誘導員

施工スパン両端に交通誘導員を配置し、通行車両及び歩行者の安全確保に努めること。国道13号、国道107号、及び指定県道については交通誘導員警備業務に係る1～2級検定合格誘導員を配置し、その他の路線についても有資格者の配置に努めること。

3-9 現場代理人及び主任（監理）技術者

- （１）現場代理人は本工事の工期内においては工事に常駐しなければならない。やむを得ず現場を離れる場合は必ず監督員に連絡をすること。
- （２）主任技術者は、有資格者であること。請負代金が４，５００万円以上の工事については、専任の主任（監理）技術者とする。
- （３）現場代理人は、一作業員ではなく、工事現場の施工管理運営及び調整に専念すること。
- （４）現場代理人及び主任技術者は自らの立場を明確にするため、腕章をつけること。

3-10 工事現場付近の住民等への対応

- （１）住民への挨拶を励行し、工事への理解を得ること。
- （２）沿道民家の出入口や駐車場への配慮をすること。
- （３）主要施設（学校、病院、飲食店等）へは工事説明を事前に行い、安全対策、工程等の説明を行い、理解を得ておくこと。

第４章 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律について

- 4-1 工事受注者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（アスファルト・コンクリート、コンクリート及び木材）が廃棄物になったものをいう。）について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年法律第１０４号。以下「法」という。）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和４５年法律第１３７号。以下「廃棄物処理法」という。）を遵守し適正に処理しなければならない。
- 4-2 工事受注者は、その請け負った建設工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとするときは、当該他の建設業を営む者に対して、法第１２条第３項に基づき、法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について、告知書様式で告げなければならない。
- 4-3 工事受注者は、特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に、法第１８条第１項の規定に基づき、再資源化等報告書を本工事の監督員へ提出しなければならない。
- 4-4 本工事で発生した建設資材廃棄物は、秋田県又は秋田市が廃棄物処理法に基づき許可した施設で適正な処理をすること。
- 4-5 本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処理費）は、運搬費と処理費（平日の受入に伴う処理費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用は変更の対象としない。

第５章 その他

5-1 定めなき事項

本仕様書に定めなき事項又はこの工事の施工に当り疑義が生じた場合は、必要に応じて監督員と協議するものとする。

横手市水道施設工事規格値

工 種	項 目	規格値	測定基準	備 考
配水管布設工	延長	-200mm 以内	全延長（口径毎）	
	埋戻し（各層）	-30mm 以内	40mに1箇所	
	管上深さ（土かぶり）	-30mm 以内	40mに1箇所	
	床砂	-30mm 以内	40mに1箇所	
土工	掘削幅	-50mm 以内	40mに1箇所	
	床堀深さ	-30mm 以内	40mに1箇所	
立坑工	深さ	±100mm 以内	設置箇所毎	
	直径（幅）	±30mm 以内	設置箇所毎	
立坑土工	基礎幅	-50mm 以内	設置箇所毎	
	基礎厚	-30mm 以内	設置箇所毎	
	底板Con幅	-30mm 以内	設置箇所毎	
	底板Con厚	-10mm 以内	設置箇所毎	
舗装工	表層工（幅）	-25mm 以内	40mに1箇所	
	表層工（厚さ） 中規模	-7mm 以内	1000㎡に1箇所	中規模 2,000㎡・500t以上
	表層工（厚さ） 小規模	-9mm 以内	3箇所	200㎡未満は1箇所以上
	※表層工密度試験	平均96.5%以上	3箇所	200㎡未満は1箇所以上
	基層（幅）	-25mm 以内	40mに1箇所	
	基層（厚さ） 中規模	-9mm 以内	1000㎡に1箇所	中規模 2,000㎡・500t以上
	基層（厚さ） 小規模	-12mm 以内	3箇所	200㎡未満は1箇所以上
	※基層密度試験	平均96.5% 以上	3箇所	200㎡未満は1箇所以上
	上層路盤工（幅）	-50mm 以内	40mに1箇所	
	上層路盤工（厚さ） 瀝安 中規模	±15mm 以内	1000㎡に1箇所	中規模 2,000㎡・500t以上
	上層路盤工（厚さ） 瀝安 小規模	±20mm 以内	3箇所	200㎡未満は1箇所以上
	※上層路盤工密度試験瀝安	平均96.5% 以上	3箇所	200㎡未満は1箇所以上
	上層路盤工（厚さ） M-40 中規模	-25mm 以内	100mに1箇所	中規模 1層あたり2,000㎡以上
	上層路盤工（厚さ） M-40 小規模	-30mm 以内	100mに1箇所	200㎡未満は1箇所以上
	※上層路盤工密度試験M-40	平均96.5% 以上	3箇所	200㎡未満は1箇所以上
	※上層路盤工 2.36mmふるい分け試験M-40 中規模	平均±8.5% 以内	1回～2回/日	中規模 1層あたり2,000㎡以上
	※上層路盤工 2.36mmふるい分け試験M-40 小規模	平均±15% 以内	1工事あたり1回以上	
	※上層路盤工 75μmふるい分け試験M-40 中規模	平均±3.5% 以内	1回～2回/日	中規模 1層あたり2,000㎡以上
	※上層路盤工 75μmふるい分け試験M-40 小規模	平均±6.0% 以内	1工事あたり1回以上	
	下層路盤工（幅）	-50mm 以内	40mに1箇所	
	下層路盤工（厚さ）	-45mm 以内	100mに1箇所	
	※下層路盤工密度試験	平均97.0% 以上	3箇所	200㎡未満は1箇所以上 歩道部個々85%以上
仕切弁	スピンドル深さ	-30mm 以内	設置箇所毎	
排泥弁	設置確認	目視	1箇所以上	
排泥管	設置確認	目視	1箇所以上	
水管橋	延長	-200mm 以内	設置箇所毎	
消火栓	設置確認	目視	設置箇所毎	
※水圧試験	RVP・HPPE	0.75Mpa	全延長	1時間保持 HPPEの場合PTC推奨試験方法でも可
	DIP	0.98Mpa	全延長	1時間保持
※不断水分岐・仕切弁	RVP・HPPE	常圧+0.2Mpa	設置箇所毎	10分間保持
※不断水分岐・仕切弁	DIP	0.98Mpa	設置箇所毎	10分間保持

※印は、品質管理。

○工事標示板の様式【例】

別紙 2

単位:cm	
2	112
2	2
12	12
43	43
35	140
11	11
35	35
2	2

ご迷惑をおかけします

新しい水道管を
布設しています

令和〇〇年〇〇月〇〇日まで
時間帯〇〇:〇〇~〇〇:〇〇

水道工事

発注者 横手市 〇〇部
〇〇〇〇課 〇〇〇〇係
電話 〇182-〇〇-〇〇〇〇

施工者 〇〇〇〇株式会社
現場代理人 △△ △△
電話 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

留意事項

1. 「ご迷惑をおかけします」「〇〇〇〇工事」は青地に白抜きとし、反射装置を施したものとする。
2. 「〇〇〇〇を行っています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。
3. 縁線の余白は2cm、縁線の太さは2cmで黒色とする。
4. 工事期間等に変更があった場合は、直ちに修正するものとする。
5. 文字サイズ、レイアウトは記載内容に応じて調整するものとする。

令和8年度

【横配水-No.7】四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

諸 経 費 等 条 件 明 示 書

横手市 上下水道部 水道課

工 事 年 度	令和 8 年度
工 事 名	【横配水-No. 7】四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事
変 更 回 数	
諸 経 費 区 分	上水道 令和08年度
工 種 区 分	開削工事及び小口径推進工事等
単 価 適 用 年 月 日	令和08年09月01日付 実施単価表
単 価 地 区	平鹿地区
機 損 適 用 年 月 日	令和07年10月01日付 公共 B地区
歩 掛 適 用 年 月 日	令和08年05月 水道歩掛
備 考	

【横配水-No.7】四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

[illegible]

参 考 図 書

工事番号・工事名

【横配水-No.7】四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

「留意事項」

- 1 参考図書は「真摯で機動性のある見積り」を目的に提示するものである。
- 2 参考図書は、発注者が用いた積算資料を、参考として提示するもので、契約上拘束するものではない。
- 3 参考図書の内容は、設計図書の変更あるいは誤びゅうによるもの以外、設計変更の対象としない。

[illegible]

【横配水-No. 7】 四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

本工事費内訳書					
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
開削工事及び小口径推進工事等01	1	式			
配水管布設替工 DIP-Kφ150	1	式			A 1 号
既設管撤去工 DIP-Kφ150	1	式			A 2 号
交通管理工 交通誘導警備員	1	式			A 3 号
直接工事費計					
共通仮設費計	1	式			
共通仮設費(積上げ)	1	式			
運搬費	1	式			
仮設材等の運搬(1車1回)往復 製品長12m以内 片道運搬距離70km	8.11	t			施 37 号 割増なし
仮設材等の積み込み・取卸し費 基地積込→現場→基地取卸	8.11	t			施 38 号
技術管理費	1	式			
通水試験	0.03	日			施 39 号 既設管と連絡して 給水車が不要の場合
施工管理システム	1	毎/月			見積
共通仮設費(率化)	1	式			
共通仮設費率分	1	式			
純工事費	1	式			
現場管理費	1	式			
工事原価	1	式			
一般管理費等	1	式			

横手市

[illegible]

[illegible]

横手市

[illegible]

横手市

[illegible]

横手市

【横配水-No. 7】 四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

第 1 号 B代価表						1 式 当り
配水管布設替工(材料)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要	
ダクタイル鋳鉄管 150mm×5m K形直管(内面粉体) 3種管(119kg)	4	本				
不断水T字管 ダクタイル製(ソトシール仕切り 弁付) 150×150(鋳鉄管用) 内外面粉体 K形受口	2	基				
ダクタイル鋳鉄管K形異形管 (2類) 150mm 90° 曲管 質量32.5 内面粉体	2	個				
ダクタイル鋳鉄管K形異形管 (1類) 150mm 45° 曲管 質量30.0 内面粉体	3	個				
特殊押輪(離脱防止) φ150 K形(芯出機能) 組価格	11	組				
不断水仕切弁(ストップ) 材料 φ150 鋳鉄管用 (通水部粉体塗装品)	2	基				
弁筐(FCD, カラ付, 管径, 管種) 内ねじタイプ H=1200 φ50～φ200	3	基				
弁筐嵩上継手 TJ2	1	個			見積	
弁筐用底版 φ50～φ200	3	基				
埋設標識シート アルミ蒸着 W 150mm幅×50m巻	0.3	巻				
管明示ビニールテープ 上水道(年号入) 30m/m幅×20m巻	0.5	個				
※排泥						
サドル付分水栓 鋳鉄用 150×50	1	個				
サドル付分水栓 密着コア (エポキシ・モルタル兼用) φ50	1	個				
ポリエチレン管用継手 φ50×1000 フレキシブル継手(袋ナット×PE継手)	1	個				
PE S型SUS エルボ 50	2	個				
青銅弁 φ50 角ハンドル	1	個				
PE S型SUS 回転メーター用 50	2	個				
ポリエチレン管 JIS6762 50mm	3.4	m				

横手市

[illegible]

【横配水-No. 7】 四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

第 2 号 B代価表						1 式 当り
配水管布設替工(労務)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要	
鋳鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径150mm	14	m			施 2 号 クレーン付トラック使用	
鋳鉄管切断(エンジンカッター使用) 呼び径150mm	4	口			施 3 号	
メカニカル継手 呼び径150mm	11	口			施 4 号 モルタル充填工無	
ねじ式弁筐設置 A形1号 受枠30以上60kg未満 蓋30kg未満	3	箇所			施 5 号 底版を使用する	
不断水連絡(分岐) φ150×φ150(鋳鉄管用)	2	箇所			C 1 号	
不断水仕切弁設置 φ150(鋳鉄管用)	2	箇所			C 2 号	
ポリエチレン管切断 呼び径50mm	4	口			施 6 号	
ポリエチレン管据付工 呼び径50mm	3.4	m			施 7 号	
ポリエチレン管継手工 呼び径50mm	6	口			施 8 号	
サドル分水栓建込み 分岐呼び径50mm 鋳鉄管 呼び径150mm	1	箇所			施 9 号	
コア取付け工 呼び径50mm	1	箇所			施 10 号	
鋼管小口径管ねじ込み接合 呼び径50mm	2	口			施 11 号	
ポリエチレンスリーブ被覆 呼び径150mm 管長5m	14	m			施 12 号 固定用コムベント*	
管明示テープ φ350以下 φ150×5000	14	m			施 13 号 鋳鉄管布設工 天端明示無	
管明示シート	14	m			施 14 号	
計						
単位当たり						

横手市

【横配水-No. 7】 四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

第 3 号 B代価表						1 式 当り
配水管布設替工(土工)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	40	m			P 1 号	
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下	16	m2			施 15 号 バックホウ クローラ 山積0.28m3	
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離3.6km	0.7	m3			施 16 号 DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	
建設副産物処理料(中間処理):処分費 アスファルト殻 塊 自力で荷下可能な大きさ	2	t			異物の混入の無いもの ミル工業(株)	
バックホウ掘削積込 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	43	m3			施 17 号	
発生土運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離1km	9	m3			施 18 号 DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	
整地 残土受入れ地での処理	9	m3			P 2 号	
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	9	m3			P 3 号	
発生土運搬費 ダンプトラック10t積級 運搬距離13.1km	9	m3			施 19 号 DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.8m3	
発生土処分費	9	m3			渡部工業	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 発生土	31	m3			施 20 号 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) コンクリート用砂	11	m3			施 21 号 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 上層路盤 仕上り厚0.1m	16	m2			施 22 号 再生クラッシュヤーン RC-40	
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)機械施工 2.0m以下	5.1	m			施 23 号	
軽量鋼矢板引抜工(両側分)機械施工 2.0m以下	5.1	m			施 24 号	
支保工(軽量金属製)設置撤去 1段 2.0m以下	5.1	m			施 25 号 軽量金属 水圧式パイプサポート	
軽量鋼矢板賃料(継続工事無) H=2.0m	1	式			C 3 号	
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)機械施工 2.5m以下	5.1	m			施 26 号	
軽量鋼矢板引抜工(両側分)機械施工 2.5m以下	5.1	m			施 27 号	

横手市

【横配水-No. 7】 四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

第 3 号 B代価表 配水管布設替工(土工) (続 き) 1 式 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
支保工(軽量金属製)設置撤去 2段 3.5m以下	5.1	m			施 28 号 軽量金属 水圧式パイプサポート
軽量鋼矢板賃料(継続工事無) H=2.5m	1	式			C 4 号
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)機械施工 3.5m以下	9.8	m			施 29 号
軽量鋼矢板引抜工(両側分)機械施工 3.5m以下	9.8	m			施 30 号
支保工(軽量金属製)設置撤去 2段 3.5m以下	9.8	m			施 31 号 軽量金属 水圧式パイプサポート
軽量鋼矢板賃料(継続工事無) H=3.5m	1	式			C 5 号
歩車道境界ブロック撤去 再利用	10.5	m			P 4 号
標識板撤去(警戒・規制・指示・路線番号標識) 施工規模2基以下	1	基			施 32 号 時間制約無 夜間作業無
標識柱・基礎撤去(路側式) 単柱式(基礎含む) 施工規模2基以下	1	基			施 33 号 時間制約無 夜間作業無
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 ダンプトラック4t積級 運搬距離3.6km	0.2	m3			施 16 号 DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3
建設副産物処理料(中間処理):処分費 コンクリート殻 無筋 自力で荷下可能な大きさ	0.4	t			異物の混入の無いもの ミノル工業(株)
標識柱・基礎設置(路側式) 単柱 メッキ品 φ60.5 規模2基以下	1	基			施 34 号 曲げ支柱加算無 時間制約無 夜間作業無
標識板設置 (警戒・規制・指示・路線番号標識)	1	基			施 35 号 施工規模2基以下 時間制約無 夜間作業無
計					
単位当たり					

[illegible]

横手市

[illegible]

横手市

【横配水-No. 7】 四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

第 6 号 B代価表						1 式 当り
既設管撤去工(土工)						
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要	
舗装版切断 アスファルト舗装版 15cm以下	17	m			P 1 号	
バックホウによる舗装版直接掘削・積込 舗装厚0cm超え10cm以下	7	m2			施 15 号 バックホウ クローラ 山積0.28m3	
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬費 タンクトラック4t積級 運搬距離3.6km	0.2	m3			施 16 号 DID区間無し バックホウ クローラ 山積0.28m3	
建設副産物処理料(中間処理):処分費 アスファルト殻 塊 自力で荷下可能な大きさ	0.4	t			異物の混入の無いもの ミル工業(株)	
バックホウ掘削積込 クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	11	m3			施 17 号	
管路埋戻費(機械埋戻・バックホウ) 発生土	10	m3			施 20 号 クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	
路盤工(施工幅1.8m未満)(1層当り) 上層路盤 仕上り厚0.1m	7	m2			施 22 号 再生クラッシャーラン RC-40	
軽量鋼矢板たて込み工(両側分)機械施工 2.5m以下	3.9	m			施 26 号	
軽量鋼矢板引抜工(両側分)機械施工 2.5m以下	3.9	m			施 27 号	
支保工(軽量金属製)設置撤去 2段 3.5m以下	3.9	m			施 28 号 軽量金属 水圧式パイプサポート	
軽量鋼矢板賃料(継続工事無) H=2.5m	1	式			C 7 号	
計						
単位当たり						

【横配水-No.7】四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

[illegible]

横手市

[illegible]

横手市

【横配水-No.7】四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

[illegible]

横手市

[illegible]

横手市

【横配水-No.7】四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

[illegible]

横手市

【横配水-No. 7】 四の堰地区かんがい排水事業に伴う配水管布設替工事

第 6 号 C代価表						現場発生品及び支給品運搬 片道4.6km(山本産業) 積載量0.2t					
						1 回 当 り					
名 称 ・ 規 格		数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要					
普通作業員			人			C 8 号					
トラック クレーン装置付・積載質量2t・2.0t吊			時間								
計											
単位当たり											

[illegible]

[illegible]

横手市